

領 収 書

佐野市議会 小森 隆一 様

金額 4,900 円

但し、 令和5年度市町村議会議員研修[2日間コース]第1回「防災
と議員の役割」

の 研修に要する経費(食費を除く)

として上記の金額を領収いたしました。

令和5年4月24日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 梅村 徹弥

領収書No. 16

研修 小 森 隆 一 議員

研修: 防災と議員の役割

日時: 令和5年4月27日(木)~28日(金)

場所: 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 全国市町村国際文化研修所

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅~唐崎駅	鉄道	往復	1,269.6	19,580	11,180			30,760
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
計				19,580	11,180	0	0	30,760

宿泊料@16,500×0泊

0 円

交通費

30,760 円

(うち航空運賃)

0 円)

計

30,760 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長

岩 上 裕 一

領 収 書

小森 隆一 様

¥ 1 , 0 0 0 -

ただし、両毛六市議員懇談会研修会出席者負担金として領収いたしました。

令和6年1月23日

両毛六市議員懇談会

会 長 末吉 利啓

◇研修会名：令和5年度市町村議会議員研修 [2日間コース] 第1回『防災と議員の役割』

◇日 時：令和5年4月27日（木）～28日（金）

◇場 所：全国市町村国際文化研修所

◇研修内容

1. 災害リスク低減に果たす議会の役割【講義】（講師：京都大学名誉教授 林春男氏）

・災害を乗り越える力「レジリエンス」（resilience ストレスを跳ね返す要素）を向上させる事が重要である。

・そのためには以下が大切である。

①少しでも発生する被害を減らす努力を続けること

②重要な社会機能については、高い事業継続能力を持つこと

③社会全体として、速やかな普及・復興を実現すること

●「レジリエンス」とは【事業継続能力】でもある。

・「災害に対するレジリエンス」を考える3要素

①「レジリエンス」は個人、コミュニティ、国という3つのレベルで成立し、相互に関連する。

②「災害レジリエンス」はハザードとレジリエンス能力（自助・互助・共助・公助あり方に着目）の関数である。

③ハザードに対して、主体は3種類のふるまい方（i 変化なし、ii 一時的な変化、iii 恒久的な変化）がある

●議員のレジリエンス向上活動としては、個人→国/コミュニティ→国における、現行の防災の枠組みを変革する様々な試みの役割がある。

●災害レジリエンスを向上させるには、【予防力向上】、【回復力向上】が重要である。

●レジリエンスの向上方策としては、【予測力】、【予防力】、【対応力】の向上が重要である。

2. 平時の防災と議員の役割【講義】【演習】（講師：跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 鍵屋一氏）

（1）平時の防災 ～マネジメントを中心に～

●命を守る防災のコツ⇒早く逃げる

○平時はコミュニティと福祉専門職による支援⇒災害時は個別避難計画に基づいて避難支援

●災害被害の方程式

自然の外力×人口（暴露量）×社会の脆弱化→高齢者の増、障がい者の増、近所づきあいの減、消防団員の減

・なぜ、人は備えないのか？ なぜ、行政、福祉、企業等の災害対策の優先順位は低いのか？

●正常化の偏見（自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価してします人間の特性⇒「自分は大丈夫」）

●組織は「非日常」が苦手←危機時は、臨機応変な対処が必要、「非日常」は内容、程度、過程が多様で、マニュアル化にも限度があり、職員は危機管理を敬遠しがち…

●避難支援について、近所・友人と福祉関係者の支援力が強い。

●地区防災計画や個別避難計画で高齢者や障がい者を近所や福祉と繋げることが大切⇒併せて、地区防災計画や個別避難計画で、支援者の危機管理能力向上させる必要がある。

●高齢者支援制度、避難拠点拠点が必要⇒福祉施設BCPの義務化、福祉避難所の整備を進める必要がある。

●最重要な応急対策は、災害関連死を防ぐこと⇒在宅の被災者支援が重要である。

⇒在宅の高齢者・障がい者等の見守り、保健・医療・福祉・生活支援が重要

⇒自治会等の見守り支援、福祉BCP（居宅介護支援、訪問系・相談系事業所等）、社協等の生活支援相談等

●被災地域では、自治体、社協等も被災し、支援力が低下、一方、支援ニーズは大きく増加

⇒官民合わせて、大量の外部支援および調整が必要⇒官民連携拠点【被災者支援センター】を早急に設置したい。

(2) 平時の防災 ～重要な地域防災政策～

●地震災害のボトルネックは弱い木造住宅と木造住宅未収市街地

●重要な地域防災施策とは？

①住宅の耐震化…耐震化が進まない理由の大半はお金の問題⇒重要なのは自己負担の有無

②要配慮者支援…優先度が高いと市町村が判断された方について、地域調整会議で当事者、地域、福祉を繋げる

③防災教育

●令和3年の改正災害対策法において、福祉防災が強化された

①個別避難計画作成を市町村の努力義務化⇒要支援者だけでなく支援者の命も守る

②介護福祉事業所、障がい福祉サービス事業所に3年以内にBCP（事業継続計画）作成を義務付け

③福祉避難所ガイドライン改定←これまで福祉避難所の運用に問題が多かった

3. 災害時、復旧・復興期の議員の役割【講義】（講師：跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 鍵屋一氏）

○災害時の議会・議員活動 ～まとめと展望～

①地域での支援活動

・避難所の運営支援、在宅避難者情報のニーズ把握など、できることは何でも

・やってはならないこと（大声を出さない、職員に指示しない、市や職員の悪口を言わない等）

②情報収集と災害対策本部への提供

・窓口を議長に一元化する

③対策本部情報等の住民への提供、情報発信

・特に、在宅避難者や高齢者・障がい者への重要情報提供が重要

④視察の受入れ

・議員が視察を受け入れることで、執行機関の負担を軽減しつつ、外部支援の確保を図ってみてはどうか。

⑤要望活動

・自治体職員が時間をかけて手続きを踏むよりも、議会・議員がその政治力を生かして国や関係機関に要望し、早期に対策を実施させる

⑥復興計画

・復興ビジョンのようなおおきな枠組みを議決し、具体策は議会質疑を通じて充実するのはどうか。

●議員の行動指針（案）

①自らが被災しないように準備する

・災害直後は、落ち着いて安全の確保を、人命第1

②地域での支援活動を

③情報の収集と地域への提供を

④個別の要請は避け、地域の情報は議会に集約

⑤地域と議会・執行期間との橋渡しを

●社会関係資本 Social Capital

・決め手は「ご近所力」

人や地域のつながり＝信頼の絆＝ご近所力

⇒「ご近所力こそが、安全安心の源泉」

●ご近所が要支援者の主体性、生きがいを引き出す

●福祉、防災、コミュニティの連携で「強み」を生かし「弱み」を補完する避難支援体制

⇒日常も災害時も支え合える「地域共生社会」が重要である

◎これからの防災は

⇒損失を減らす防災から、「価値向上型」の防災へ

⇒日常から人間関係を、近所関係を良好にし、誰一人取り残さない魅力ある地域社会＝地域共生社会を作る

⇒災害や危機にも強くなる

4. 所感

研修では、「災害リスク低減に果たす議会の役割」、「平時の防災と議員の役割」、「災害時における議会の対応と取組」、「災害時、復旧・復興時の議員の役割」等を、講義、演習ならびに、事例発表を通して、基本的な考え方や、具体的な方法等を学びました。

日頃より考えていた、議員として、防災士として、地域の防災部長としての活動の方向性を見出だすのに、大変有意義なものとなりました。

市民の方の安全安心を第一義に、「価値向上型」の防災を目指して、平時より、人間関係、近所関係を良好にする信頼のネットワーク社会、地域共生社会が、足下の地元地域から広がるよう、地道にお手伝いをさせていただきます。

貴重な学びの場をありがとうございました。

令和5年度

市町村議会議員研修[2日間コース] 第1回「防災と議員の役割」

地震や記録的な豪雨、大型台風などによる自然災害は毎年のように各地で発生しています。加えて、新型コロナウイルス感染症への対応も求められる今、住民の命と生活を守るため、日頃からの防災意識の向上、訓練や備え、助け合える関係づくり、また、行政との緊密な連携が改めて重要となっています。

本研修では、災害発生に備え、平時からの防災の心構えや地域での連携の重要性について学び、現在の防災対策に関連する諸課題や議会・議員の果たすべき役割について考えます。

開催要領

日 程 令和5年4月27日(木)～4月28日(金)(2日間)

場 所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象 市区町村議会議員の皆様
2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。過去に本研修を受講された方もお申し込みいただけますが、より多くの方に受講していただくため、申込人数によってはお断りする場合がございますので、ご了承ください。

募集人数 60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください(市区及び町村の区分における申込者の人数により、受講者の人数を按分して抽選、決定します)。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費 7,550円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 令和5年3月15日(水)まで

申込方法 議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
[Web申込み]が不可能な場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申し込みください。
※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和5年

4月

27日(木)

11:00~
入寮受付・昼食

12:30~
開講式・オリエンテーション

13:00~14:30
講義 災害リスク低減に果たす議会の役割

国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長 林 春男 氏

21世紀前半に国難ともいえる巨大災害の発生が確実視されるなか、地方議会がどのように対処すればよいのか、平時から災害に備える防災の心構えや防災対策の取組、地域における災害レジリエンスの向上等についてお話しいたします。

14:45~15:55
講義 平時の防災と議員の役割

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
災害への対応は平時から意識し取り組んでおくことが必要です。この時間では、後半の演習の導入として、平時から議員として取り組むべき役割についてお話しいたします。

16:10~17:40
演習 平時の防災と議員の役割

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏
講義を踏まえ、平時における議員の役割について、ワールドカフェ形式による意見交換を行います。

18:00~
交流会 ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:10
事例紹介 災害時における村上市議会の対応と取組

新潟県村上市議会 議長 三田 敏秋 氏

コーディネーター:跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
令和4年8月に発生した豪雨災害において、村上市議会としての対応や課題などについてご紹介いただきます。
また、鍵屋氏にはコーディネーターとして、専門的な知見からご意見をいただきます。

10:25~13:35(途中昼食休憩有)
講義・演習 災害時、復旧・復興期の議員の役割

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏
災害時および復旧・復興期における議員の役割についての講義後、グループに分かれて意見交換を行い、議員として何ができるかについて考えます。

13:45~14:45
講義 ふりかえりとまとめ

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏

14:45~15:00
閉講・事務連絡

第2回目のお知らせ

令和5年度の市町村議会議員研修[2日間コース]第2回「防災と議員の役割」を次の日程で実施いたします。
令和5年11月20日(月)~11月21日(火) ※詳細は、別途9月初旬頃にご案内します。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。